

私、株式会社キリンヂャカード 代表取締役 岡村智司は、以下の事をリスケジュール中の企業の代表の声として金融庁、東京東信用金庫本部、ルールを決められるリーダーに対して伝えたく金融庁相談窓口と、ハロープラザに現状を伝えた次第です。

取り返しが付かない状況になってから『一言言ってくれば良かったのに』と言われても何の役にも立たないので。同じ境遇の企業の声（届かぬであろう処に）届くよう声を上げた次第です。

・北小岩支店は現在できる中での考えられる策を講じて、親身になり時間を費やし動いてくれています。が誰も経験した事の無い状況下で経済が極端に悪い状況のなかでリスケジュール中の弊社に対し支店の判断では追加融資等は難しい事は私にでも容易に判断できます。日本政策金融公庫での申請と同じ商品を取引先金融機関でも取り扱っていると公庫へ電話催促した際に言われた事に誤解があった点は理解不足で訂正しお詫び申し上げます。

北小岩支店においてはいち早く対応して頂いておりました。

・弊社はピンチをチャンスに変えるべく、新規顧客、新しい事業形態、「ダンパー」と言う防災に使える商材の市区町村への販売等を計画しておりますが、コロナ状況が悪化し始めた3月半ば早くから資金調達等に追われ未だ何一つ資金手当の見通しがついていません。

・瓦斯、水道、電気、厚生年金等の支払いの停止。身内全ての保険での貸付、持続化給付金、雇用調整助成金、テレワーク助成金申請等出来る事、考える事は全てやっています。

・企業としても、2月下旬、中国武漢でのコロナ蔓延を受け、原毛の調達に不安があった為、早めに原材料の発注を多くした為支払いが先行、協力工場（外注）等に仕事を継続的に出し今後も継続してもらえるよう区にニットマスクの納入を働きかけ、最低限稼げるようマスク製作に全ての外注に関わってもらった。持続化給付金は条件変更等でほぼ消えてしまいました。

・春夏の製品も翌年の引き取りとなり、3～4月にかけてのアパレルの秋冬物展示会オーダーも激減、生産も一時ストップとの依頼もありました。

このような状況下でまず伝えなかった事。

・リスケジュールしている顧客がこの様な状況となっている事を金融庁と信用金庫本部としては把握されているのでしょうか？

・リスケジュール企業への対応策や枠組を金融庁や東信用金庫本部は各支店に通達していたのでしょうか？

・リスケジュール企業への特別融資枠等が金融庁や信用金庫としてはあるのでしょうか？

・条件の変更は有ったとしても、私たちリスケジュールを受けている企業は、高い金利はきちんと払っている顧客ではないのでしょうか？
必ず正常化して返済しきるつもりで高い保障料を払い継続していく覚悟を持って経営しています。

私は、他のリスケジュール中の経営者様も同じように困っていると考え声を上げていたつもりです。

皆様のお力添えで弊社は何とか弊社は88年継続してまいりました。今の状況をチャンスに変革できるように全社員で話し合い続けています。

皆様の応援に背く事にならぬよう、尚リスケジュール中の企業の代表として、声を届けたかった次第です。

宜しくお願い致します。

ご無礼な言葉使い等がございます事をお詫び申し上げます。

株式会社キリンチャカード
代表取締役 岡村 智司